

平成21年12月3日
日本下水道事業団

日本版次世代 MBR 技術展開プロジェクト (A-JUMP) における JS の役割について

膜分離活性汚泥法 (MBR) について、JS では平成 10 年度から実用化に係る民間企業との共同研究を実施してきており、その成果を踏まえ、9 箇所 (平成 20 年度末) の処理場で、JS の設計・施工で MBR が導入され、供用開始されています。

現在、国土交通省が設置した「下水道膜処理技術会議」では、MBR を活用した先進的な取組みを実施設で実証し、今後の導入を推進する上で必要な知見を集積することを目的として、「日本版次世代 MBR 技術展開プロジェクト (通称：A-JUMP)」が実施されています。この中で JS は事務局として参画し、愛知県と名古屋市で実施されている実証事業の妥当性の評価及び他所への適用可能性などの検討を担当しています。また、今後同会議において取りまとめられる「下水道への膜処理技術導入のためのガイドライン」[第 2 版]の取りまとめにも、これまでの研究成果と設計・施工実績、そして JS の保有する技術力を活用し中心的な役割を果たしてまいります。

JS では、今後とも MBR のより一層の小規模化、大規模改築への効果的適用、省エネ推進等に係る技術開発を行うとともに、その成果を活用し、効率的な汚水処理施設整備に関する地方公共団体への支援を推進していきます。

【お問い合わせ先】

日本下水道事業団

技術開発部技術開発課長 川島 正

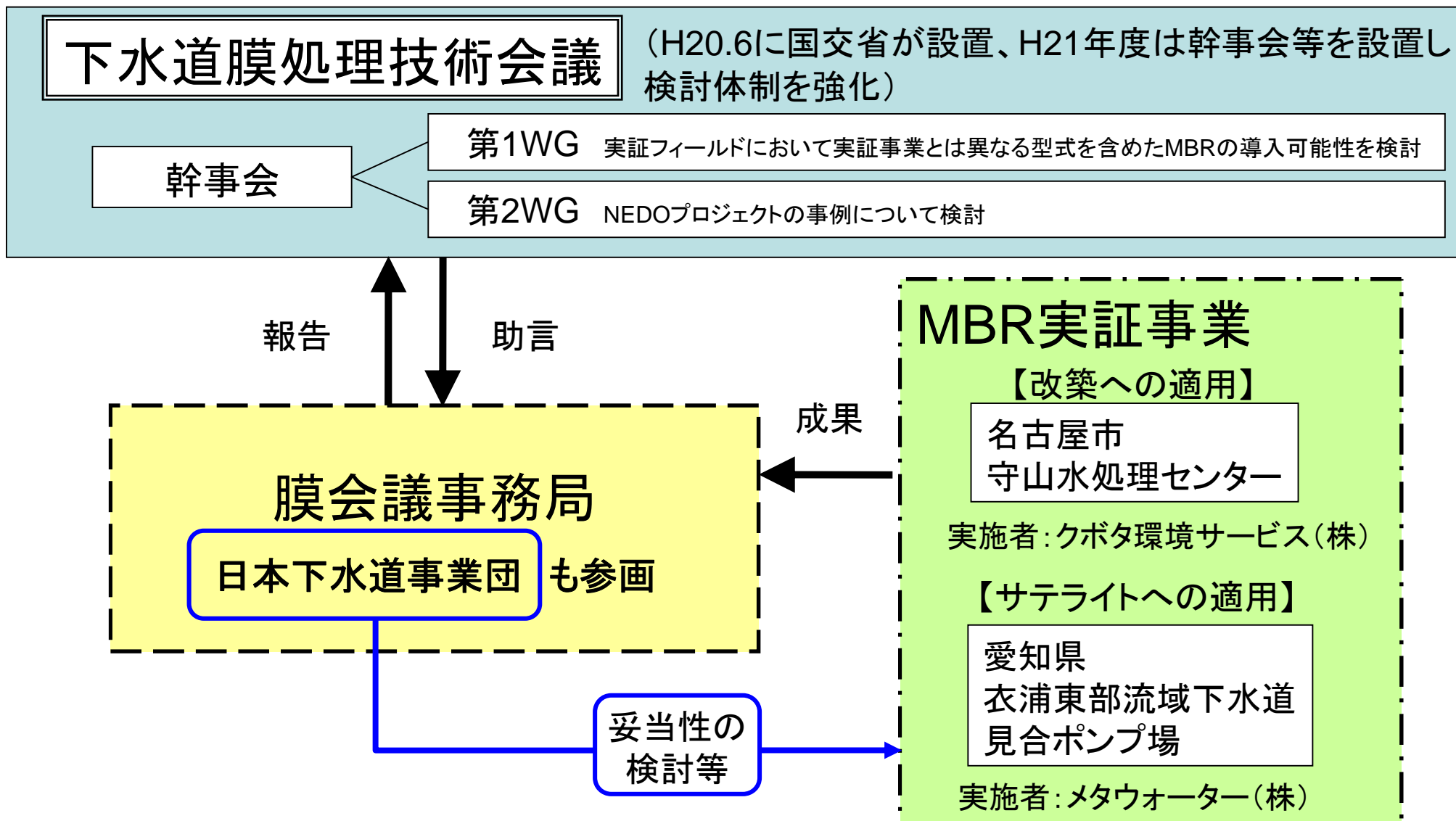
TEL : 048-421-2693

事業統括部新プロジェクト推進課課長 細川 顕仁

TEL : 03-6361-7832

A-JUMP推進体制(案)

※ Advance of Japan Ultimate Membranebioreactor technology Project



膜分離活性汚泥法の導入実績(JS設計・施工)

別表

No.	県名	市町村名(合併前)	処理場名	稼動、建設	供用開始	現有処理能力 (m ³ /日)	備考
1	兵庫県	福崎町 (ふくさきちょう)	福崎浄化センター (ふくさき)	稼動	H17.3	4,200	
2	栃木県	鹿沼市 (かぬまし)	古峰原水処理センター (こぶがはら)	稼動	H17.4	240	
3	高知県	橋原町 (ゆすはらちょう)	橋原浄化センター (ゆすはら)	稼動	H17.12	400	
4	岡山県	鏡野町(奥津町) (かがみのちょう)	奥津浄化センター (おくつ)	稼動	H18.4	600	
5	島根県	雲南市(大東町) (うんなんし)	大東町浄化センター (だいとうちょう)	稼動	H18.9	1,000	
6	福井県	若狭町(三方町) (わかさちょう)	三方海越浄化センター (みかたかいえつ)	稼動	H19.4	230	
7	静岡県	浜松市(佐久間町) (はままつし)	城西浄化センター (しろにし)	稼動	H20.3	1,375	
8	静岡県	沼津市(戸田村) (ぬまづし)	戸田浄化センター (へだ)	稼動	H20.3	2,140	
9	島根県	大田市 (おおだし)	大田浄化センター (おおだ)	稼動	H21.3	2,150	
10	岡山県	美咲町 (みさきちょう)	柵原浄化センター (やなはら)	建設中		900	
11	熊本県	天草市(天草町) (あまくさし)	高浜浄化センター (たかはま)	建設中		620	
12	福岡県	新宮町 (しんぐうまち)	中央浄化センター (ちゅうおう)	建設中		3,100	
13	沖縄県	大宜味村 (おおぎみそん)	大宜味浄化センター (おおぎみ)	建設中		300	
	備考	※その他、設計・計画中の箇所数：5箇所					